

**ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問
(期間：平成25年2月14日～平成25年2月27日)**

原子力政策について

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名 : 新潟県

○ご意見の内容:

原子力規制委員会で安全性を第一に考えて多くの規制を掛けていくのは、大変結構なことです。しかし、規制を設定するということは原子力発電を続けることを前提として考えているということでしょう。各種規制をクリアするまで原子力発電所は発電を止め続けることになります。停止続けるとしたら大変な無駄になります。エネルギー政策にもっと力を入れた予算を組み、原子力に変わる発電を推し進めるのであればよろしいのですが、その方面の動きは全く遅いとしか言い様がないのではないのでしょうか。エネルギー運営は民間が行うのではなく、国営で実施しなければなりません。原発を強かに推し進める事にして、発電を再開しプルサーマルを確立し無駄なエネルギー拡散を防ぐ事の方がより現実的であろう。地震がきても大丈夫にするにはどうすればよいかを議論すべきである。地震や津波は来て当たり前である。それでも大丈夫な原発を作るための規制委員会であってほしい。でなければ、原発はすべて即廃炉にすることでいいのではないか。日本中どこでも活断層はあるに決まっている。断層だ、断層じゃあないの議論は無意味だから止めて、技術論を議論してほしい。